

NPO法人

# 久喜の自然を愛する会

## 会報

NO24 2015年6月

### 会のモットー

- 1 足元から自然を学ぼう
- 2 <sup>いま</sup> 現在 ある自然を次の世代に残そう

### ★★活動の記録（写真版）★★

★ふれあいウオーク中土手（1） 2015年4月19日（日）



中土手 27名参加



観察会のスタート



カントウタンポポ



カスマグサ



熱心に耳を傾けています



意見交換



会長挨拶

★キクイモ堀 2014年12月15日(月)



★七草粥を食べる会 2015年1月6日(火)



前日の七草採取

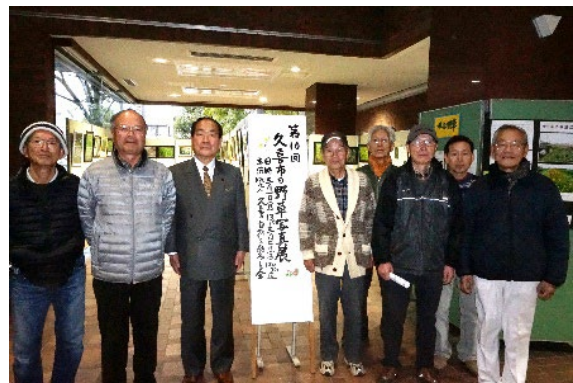


調理開始前の記念撮影

★第10回久喜市の野草写真展 2015年3月1日(日)～7日(土)



飾り付け終了



市長と記念撮影

★キクイモ植え付け 2015年3月30日(月)



★久喜の里野草写真展 2015年3月11日(水)～5月20日(水)



飾り付け終了



搬出時の記念撮影

★特定非営利活動法人久喜の自然を愛する会総会

第3回（通算第11回） 2015年4月26日（日） 太田集会所



25名参加



代表挨拶



事業報告



会計報告



来年は私が揚げます



みんなで作った野草のデンプラで懇親会



★春の野草観察回 2015年5月17日(月) 共催：太田小地区コミュニティ協議会  
：NPO法人久喜の自然を愛する会

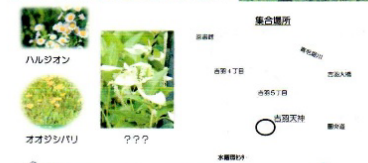
春の野草観察会

平成27年5月17日(日) 午前9時30分～11:30分

いつも見かける草花をもっと知ろう！

地元をよく知る元気なガイドさん達と一緒に自然を楽しみましょう！

集 会：開始10分前までに会場にお出でください。  
会 場：吉羽天神の周辺  
講 師：「久喜の自然を愛する会」  
参加人数：先着30名（小学生は保護者同伴）  
参加費：無料  
持ち物：飲み物、筆記用具、帽子、長袖、長ズボン



共催：太田小地区コミュニティ協議会  
：NPO法人「久喜の自然を愛する会」

「春の野草観察会」への参加申し込みは、①氏名 ②参加人数 ③電話番号 を  
太田小地区コミュニティ協議会の担当科代表者（有沢氏の仮定名）へ申し込み下さい。  
（なお、観覧には駐車場がありませんので徒歩や自転車等でお越しください）



25名参加



藤浪会長による説明

★ふれあいウオーク吉羽天神（1） 2015年5月31日(日)



宮代運動公園 22名参加



オオバタクサの説明



本日の目玉（1）ーイチヨウウキゴケ



本日の目玉（2）ーカブトエビ



意見交換会

### 野草保護活動

東側

4月 7名



西側

4月 5名



5月 7名



5月 7名



# 巻頭言

## ある日の出来事

NPO 法人久喜の自然を愛する会代表 藤浪 康義

5月31日のふれあいウォーク吉羽天神は参加者は少なめだったが、心配された天候も良く晴れて、纏まった良い会だった。

その日の夕方のである。私は畑仕事に行った。実は私は宮代運動公園の近くに畑を借りている。近くには、同じように畑を借りている人が何人かおり、いわば畑仲間というべき人がいる。その畑仲間が、近くの排水堀のところで一人のご婦人と何かしきりに話している。仕事を終えた私が近づいていくと、彼はやあと手を上げて挨拶してきた。一方のご婦人はしきりに排水堀を覗いている。そこには午前中のふれあいウォークで観察したイチョウウキゴケがあった。ご婦人は当日の一般参加の人で、ふれあいウォークで教えてもらったイチョウウキゴケをもう一度よく見たいとやって来たのだった。そして何気なく畑仲間に教えていたのだった。

私たちの活動はこんな形でも広がりを見せているのかなと思った次第である。

## ★★活動の記録★★ 2014年末～2015年前半

### ★野草観察ふれあいウォーク「中土手」 2015年4月19日

久喜菖蒲公園駐車場に集合。参加者27名で中土手に向かう。途中にタチツボスミレが目にとまる。備前堀川を渡り中土手に出る。まずはアブラナとカラシナの区別を長須先生から説明を受ける。先生から、まず野草を手でつかみ、次に食べて比べてみよう。よく似たアブラナとカラシナ、葉が辛いのがカラシナです。なるほど噛んで見ると辛い。次にスイバを食べてみる。酸っぱい、スイバと似たギンギシは酸っぱ味はない。中土手は日本古来のカントウタンポポや白いタンポポのシロバナタンポポが多い。カントウタンポポとセイヨウタンポポの交雑種であるアイノコセイヨウタンポポもかなり多い。会の保護地付近記念撮影。中土手から橋を渡り昭和沼に戻る途中の道路端で、ミミナグサを見ることが出来た。オランダミミナグサはどこにも生えているが、ミミナグサは非常に珍しい。長須先生から、ミミナグサは花柄が長く、オランダミミナグサは花柄がほとんどないとの説明を受ける。ミミナグサの花柄は15ミリほどあった。工業団地を抜け昭和沼に出たところに、カスマグサが沢山生えていた。スズメノエンドウの花は白いが、カスマグサは紫色している。又、種子はスズメは2個なのにカスマグサは4個程ついている。

出発地点に戻り、昭和沼を見下ろす斜面で車座になり、意見交換を行った。最後に藤浪会長より次のお知らせがあり、観察会は散会した。

- ① 野草写真展への出品依頼
- ② 7月のふれあいウォーク-中土手・・・今回と同じコースで観察会を行うので、今回見ることができなかつた花がみられます
- ③ 5月のふれあいウォーク-吉羽天神・・・吉羽地区にある会の保護地で珍しい花がみられます
- ④ 一般の方で会に入りたい方はお残りください

### 《 当日出席者の主な感想 》

☆ 今回のふれあいウォーク参加者の感想を聞いていて、よく似た野草の区別が分かるようになった旨の発言が多かった。

- ① アブラナとカラシナ
- ② タガラシとケキツネノボタン
- ③ スズメノエンドウとカスマグサ

#### ④ ノミノツヅリとノミノフスマ

- ☆ 手にとって、噛んでみて、食べてみて、子供のころ慣れ親しんだ味を思い出した方もいました。
- ☆ 「今回、沢山の野草を見たが、見たそばから忘れてしまいました」の方が何人かいらっしゃいました。藤浪会長から、「忘れてしまうのが健全。忘れてもどこかに残っている。そのうち思い出します」のホローあり。
- ☆ 今回の資料はよかった。

#### 《 当日の主な野草 》

タチツボスマレ・セイヨウアイノコタンポポ・オニタビラコ・オオジシバリ・ノボロギク・キツネアザミ・ノミノツヅリ・アメリカフウロ・ヒレアザミ・スイバ・ナガバギンギシ・イタドリ・アブラナ・セイヨウカラシナ・ワラビ・センニンソウ・カントウタンポポ・セイヨウタンポポ・カラスムギ・スズメノエンドウ・ハコベ・オランダミミナグサ・ドクダミ・ワレモコウ・キツネノボタン・トウダイグサ・タガラシ・コバナキジムシロ・スズメノテッポウ・コイヌガラシ・タネツケバナ・ツバナ (チガヤ)・ハハコグサ・ノニガナ・ハナイバナ・キュウリグサ・オオイヌノフグリ・ミミナグサ・ノゲシ・タチイヌノフグリ・カスマグサ・スズメノエンドウ・カラスノエンドウ・ヤエムグラ・コメツブツメクサ

### ★キクイモ掘り 2014年12月15日

東側野草保護地の隣に植えてあるキクイモ掘りを行った。  
最近、キクイモは水溶性食物繊維を多く含むため、食べると血糖値を抑える効果があると言われ、人気のあるたべものです。ネットでキクイモを検索すると、ほんのり甘い菊芋のおやつ「きくいもチップス」、キクイモパウダー (菊芋粉)、キクイモ茶、菊芋でダイエット等、いろいろ販売されているようです。  
今年も12月にキクイモ掘りを行います。多くの方の参加をお待ちしています。

### ★年間反省会 2014年12月13日 17時～ 華屋与兵衛

華屋与兵衛にて、26年の反省会・忘年会が開かれました。会員20名の参加で行われました。初めに藤浪会長、長須顧問より挨拶を頂きました。今年はNPO法人移行した後で、会長交代や会の活動10周年の大きな節目を迎えた年でありました。記念事業として「全会報集約版」の発行と「10周年式典や懇親会」の開催でした。NPO法人としての活動もスタートし、例年のふれあいウオーク・野草保護・環境調査・バス旅行に加え、小学校の放課後子供教室 (ゆうゆう) は1校から3校へと多岐にわたる発展でした。県のシラコバト賞受賞もありました。10年の節目を飾る年であった事、会員皆様の協力のお陰で出来た一年との感謝の挨拶でした。

会長、顧問の挨拶を受け懇親会食の場となりました。会員一同26年度の活動を、お二人の挨拶と重ね合わせながら、振り返りつつ「和気藹々」「心から楽しい」時でした。

会食懇談をはさみ、各人より会の活動を通し「楽しかったこと」「反省や意見」を頂きました。会員から、「自然とのふれあいウオーキング、もっと回数を増やしてほしい」「もっと皆と歩きたい」との意見もありました。

自然に関心を持つお互いであり、自然への関心をもっと深める事とともに、より会員同士の絆を深めたいとの想いから、それぞれの故郷や体験話等出し合って頂きました。満州だ新潟の万代橋だ、東京下町だ、と・・・2時間30分楽しい充実した忘年会となり、新しい年への期待を膨らませ散会となりました。



## ★七草粥を食べる会 2015年1月6日 9時～ 太田集会所

今年も会の恒例行事である‘七草粥を食する会’が、1月6日(火)市民農園緑風館にて開催いたしました。

### 《 前日の七草採集の様子 》

催事の前日5日(月)、有志12名がロヂャースの駐車場に集合。事前に調べていた4地区にてセリ・ナズナ・ハコベ・ゴギョウ・ホトケノザの5品を、スズナ・スズシロは会員の畑物を頂き2時間程でしたが揃える事ができました。会員となり自然を身近に感じる事の出来る、幸せな一時でした。

### 《 当日の様子 》

TV等関係者を含め27名の参加でした。早速5班に別れ七草粥作りを始めました。主に女性はお粥作りに、男性は、これも地元で拾い集めた2種類のどんぐり「マテバシイとスタジイ」の調理(炒ったり餅にしたり)に取り組みました。2時間程で料理も食事処も完成、‘七草粥を食する会’のスタートでした。

始めに、長須房次郎顧問より「七草粥について」を学びました。

- (1) 七草の薬効能①ハコベ(歯槽膿漏予防で歯磨粉・腹痛・心臓・息切れに)②セリ(神経痛・リュウマチ)③ゴギョウ(咳・痰・皮膚病)④ナズナ(心臓・動脈硬化・解熱)、等など。
- (2) 七草はなぜ、寒極まるこの季節?(例、ナズナは地面に這い蹲るロゼット状態となり、寒さを防ぐと共に太陽の光を身一杯受け、来るべき開花の為のエネルギーを蓄えている)ナズナの最も旺盛な生命力で蓄えた栄養豊富な今。
- (3) 「七草粥つくり」への先人の願い

昔の人は粥作りの前日は夜通し、「トントンバタリ、トンバタリ」と囃子・歌いながら、俎板の上で七草を細かく刻み、孫や子供家族が唐土から鳥が運んでくる悪い病気に掛からぬ様にと願いを込め作った物。との勉強でした。

七草の総ては足元の久喜市の地で、自分たちの手で採集してきた物である事。七草の一品一品にこの時特有の薬効のある事を学び、有難く感謝して食せる事に感謝でした。又、自然からの頂き物を、志を同じくする27名の参加者と和気藹々楽しく美味しく頂きました。

### ☆感想

七草粥を食す会も会を重ねてきましたが、この度の七草粥程心にも身体にもずしりと響いた事はありません。自然の恵み、先人の働きや知恵への感謝の想いを深めて戴いたからだと思いました。これから、もっと人とのつながり：自然とのつながりを大切にしたいと思った。大変楽しい会でした。

## ★久喜市の野草写真展 2015年3月1日～7日中央公民館1F

「第10回久喜市の野草写真展」は、3月1日(日)～3月7日(土)迄、中央公民館1階ロビーにて開催いたしました。今年の出展写真数は64点(13名)でしたが、「水辺の野草24点」のコーナーも設けました。又、会場には「春の七草、ハコベ・セリ・ナズナ・ゴギョウ・ホトケノザ等」の鉢植えと、「無患子(ムクロジュ)の種と、実で作った羽根突付き用の(羽根)や腕輪等」が展示されました。

3月入っても春は名のみ寒い日が続きましたが、田中市長はじめ柿沼教育長、井上市議会議長、そして新聞記者等、御芳名簿記載者は272名を数え、例年と同様の盛況な写真展となりました。ご来場者からは「草に皆名前があること」「どの花も家の庭にも畑にも有りますが、写真を見て綺麗さに感動です」と写真を通し話し合っている人と人とのふれあいも多数みられ、野草の写真展は、春3月、久喜市の風物の一つだなーと感じられました。水辺の野草では、絶滅危惧種のイチョウウキゴケ、ウス

ゲチョウジタデ、ミズオオバコ等も興味を持たれ様子でした。又、無患子（ムクロジュ）種と、飾物や羽子板と羽根、皮から出る泡の現物は、多数の人に関心が持たれました。子供の頃を懐かしく思うと同時に、自然とのつながりが薄れていることを実感しておられました。来場者から、2箇所の無患子（ムクロジュ）の存在地を教えて頂いたり、私も「作った」と腕輪を見せて下さったり、会場が情報交換の場であり人との交流の場になっておりました。

「久喜の野草写真展」開催の趣旨である、「もっと自然に親しんでもらえれば」に沿う活動となりました。

《 関連新聞記事 》



埼玉新聞3月4日



埼玉新聞4月17日

★キクイモ植え付け 2015年3月30日

参加者5名で、キクイモの植え付けを行った。固まった土を掘り起こすの大変。腰に痛みがでる数日間腰痛が痛かった。秋の収穫を期待します。

★久喜の里野草写真展 2015年3月11日～5月20日

恒例となっている老人ホーム「久喜の里」での、久喜市の野草写真展は、中央公民での野草写真展終了後、作品を久喜の里へ持ち込み、3月11日に飾り付けを行った。5月20日の作品搬出までの約2ヶ月間を施設利用者の皆様に楽しんでいただきました。

★野草保護活動 2015年4月から

野草保護活動は東側と西側の2か所で4月から10月まで月の第4日曜日に行われている。

東側は吉羽地域内で、青毛堀と葛西用水が合流して古利根川になったところの右岸にある。対岸には昌平高校がある場所である。近くに吉羽天神があり毎月1回第4日曜日に、ここに集合して付近の野草を観察後に保護活動を行っている。この保護地では付近に生育している、絶滅危惧種等の希少植物を集めてミニ植物園的な形で保護活動を行っている。

西側は久喜菖蒲工業団地裏の中土手で主にヤブカンゾウを中心とした保護活動を行っている。

★県民参加生き物モニタリング調査 2014年5月～2016年3月

埼玉県が行う県民参加生き物モニタリング調査に参加し、平成26年5月から毎月行っている。県の計画では、平成28年の3月までとなっており、今年の1月に、平成26年5月から12月までの調査

データを報告した。このデータの中には、昨年10月に雨天のため中止となった「ふれあいウォークーくりはし」の下見時に併せて行った調査分も含まれている。

この8ヶ月間で**243種の野草が観察された**。東地区(吉羽)175種、西地区(中土手)128種、南栗橋地区68種であった。また、**動物(昆虫、鳥、動物)では60種が観察され**、東地区(吉羽)35種で西地区(中土手)は43種であった。

冬場は花が乏しいためか、野草観察をする期会が少なく、データも少ない、今回の生き物モニタリング調査では約2年間、毎月連続して調査するため、切れ目のない有意義なデータが得られるものと期待し、調査を続けております。

## ★NPO法人久喜の自然を愛する会第11回総会と懇親会

2015年4月26日 9時～ 太田集会所

### 《 総 会 》

総会は会員総数51名の中、24名の出席と委任状23名による92%と云う高い関心のもと、9時30分山中(百)会員の司会で開催されました。初めに藤浪会長より、「会の活動も昨年10年の節付けをしましたが、11年目を迎え活動も多岐に渡ってまいり、一層の発展を望むところです、会員の皆様のご協力をお願いします」と挨拶がありました。続いて長須顧問からは「会員の皆様の関心の高さに感謝するとともに元気である限りは協力をさせていただきます」との有難い言葉を頂きました。

議長には藤浪会長が選出され、議題(1)～(11)迄、熱心に報告審議され総て原案通り賛成を頂き総会は整いました。会則の一部変更(8)の年会費1000円から2000円への増額変更につきましては、会の会計の現状と同時に活動の多様化と、よりよい事業の展開を図るためにとの提案趣旨にご理解を賜りました。又、(11)その他の項では議長より提案があり、井上市議会議長と前梅田市議会議員は名誉会員とすると決し10時40分、総ての議題終了いたしました。

5、のその他では、会員より「1、新たな事業への取組み 2、野草保護地の管理(草刈)には、より多くの人に参加するよう」楽しさも草刈の労も分かち合いたい、との建設的な提案もありました。

### 《 懇親会・野草のテンプラを食す 》

総会終了後、太田集会所の調理室を借りて食事作りが始まりました。参加者は19名(内女性は6名)で、前日に東西の野草保護地の2箇所に分かれて採集した「セリ・タンポポ・ヨモギ・イタドリ・スイバ・ノビル・クコ・ハルジオン・クズ」に、長須顧問が自宅で採取した「柿の葉」を加え調理が始まりました。調理は主として6人女性が、男性は懇親会場設営や料理運びや試食に当たりました。多くはテンプラに、ノビルは味噌付けつまみに、セリは酢味噌会え、タンポポは茎をサラダとしました。御飯はクコの炊込みご飯としました。

12時に調理を終え、食卓の上も整い、懇親会の始まりです。藤浪会長、長須顧問の挨拶の後、懇親会となりました。テンプラでは、これは「スイバ・イタドリ・ヨモギ・クコ」、そして「柿の葉」、クコご飯も塩加減が最高で美味しくいただきました。美味しく頂きながら、本日の感想を述べてもらいました。男性会員からは、「テンプラの上手な揚げ方を習い、来年は揚げ方にまわる」や、「土筆の塩漬け」「野草の美味しい食べ方」等、新しいメニューが提案され、来年に向けた楽しみが増えました。

会員同士の懇親を深める事が出来、2時間余りでしたが楽しい懇親会でした。

## ★太田小地区コミュニティ協議会との共催の「春の野草観察会」

2015年1月6日

5月17日(日)太田小地区コミュニティ協議会と本会の共催で、吉羽地区における「春の野草観察会」が行われた。当日は午前9時半に吉羽天神社に25名が集合した。同天神社を一周して古利根河畔の野草保護地に行き、中落ち掘りを上り同天神社に帰るコースである。当日の野草はハルジオン、ハイコグサ、カラスノエンドウの他、保護地のミゾコウジュ、クマツヅラ、カワラナデシコ、ハンゲシヨウ等等であった。

これは、地元の豊かな自然と触れ合うイベントにより地域の交流を図るといふ、コミュ協の発案で実現したものである。このため事前に地区全体に回覧板を回して参加者の募集が行われた。

こうした取り組みは全国的にも珍しいもので、5月22日の埼玉新聞にも掲載された。

### 《 関連新聞記事 》



## ★野草観察ふれあいウォーク吉羽天神(1) 2015年5月31日

雨が心配されましたが、当日は陽射しが強く、喉が渇くほどでした。参加者は講師を含め22名(一般参加は6名)。早速、集合場所の宮代運動公園から吉羽天神に向って観察を開始。新調した軽くなったマイクロホンで、快調に歩き始めました。ネズミムギ、イヌムギ、カモジグサ、アオカモジグサ、カラスムギと次から次へとイネ科の植物が出てきます。この季節は揃って実を付けているので、個別の特徴がわかりやすい。ギシギシも実の形の違いでエゾノギシギシ、ナガバギシギシを確認。さらに今回配付された野草一覧表は、和名(漢字)標記があつて植物名の由来が分かりやすかったです。

野草保護地はカワラナデシコ(白花もありました)、クマツヅラ、ミゾコウジュ、オカトラノオなどがお花畑のよう。桑の実も色づいていました。ハンゲシヨウやオグルマも元気で開花時が楽しみです。

また、水田ではイチョウウキゴケが数箇所確認できました。サプライズはカブトエビが驚くほど沢山泳いでいるのを手にとって確認できたこと。違う田圃にはホウネンエビもたくさんいましたよ。農家の人が農薬の使用を控えている成果ですね。

今回は急ぎ足のウォーキングとなりましたが、出発地に早めに帰着。参加者みんなで木陰の草地に円座になり、感想を披露しあい、予定時間どおりに終了しました。

### 《 当日出席者の主な感想 》

小島 祐さん 吉羽に住んでいて、この辺はウォーキングしているところだ。

(一般) 今回始めて参加した。いろいろな植物があると思った。話を興味深く聞かせてもらった。

齊藤伸之さん 以前宮代に住んでいたことがある。吉羽天神の保護活動をしている。ふれあいウォークのたび毎、目新しいものがある。普段から見ているものでもあらためて生きていることを感じた。

- 田中三恵子さん 4年前に渡良瀬に行った。今回は娘より教わって来ました。今日も楽しかった。  
(一般)
- 井戸千依子さん 初参加です。草花については素人です。とても楽しかった。絶滅危惧種を保護していることに感動した。  
(一般)
- 山中淑子さん 先月も参加した。知らないものを知ることには感動がある。
- 越路シゲ子 宮代運動公園の場所が分からなくやっと来られた。幸手と異なり、たくさんのめずらしい野草がある。これからも参加したい。  
(一般)
- 長谷川雅夫さん **カブトエビ**、5年ぶり、泳いでいるのを見るのは初めてです。**ザリガニ**最近土手が少なくいなくなっている。教室でザリガニを使いたがっている。
- 原 恒二さん 最大の収穫は**カブトエビ**です。こんな近くの場合にカブトエビがいるのは信じ難かった。
- 簾内培男さん 来るたびに新しい発見がある。ザリガニの話がありました。宮代の新しい村でホタルを保護している。水路にホタルを放すのですが、ホタルを食べてしまうのでザリガニをぜひ取ってもらいたい。
- 木下悦雄さん **イチヨウキゴケ**がたくさんあり感動した。
- 玉川達男さん 菖蒲です。近くの小学校で放課後子供教室をやりたいと思っている。子供に野草を教えようと思っています。  
(一般)
- 滝本満州男さん 今日は暑い一言です。
- 松本春勇さん まさか**イチヨウキゴケ**があると思わなかった。大量に浮かんでいたので**ウキクサ**かと思っていたら、**イチヨウキゴケ**だったので、たいへん驚いた。
- 和泉次利さん **イチヨウキゴケ**がゴミもみたいに流れているのにびっくり。よかった。保護地の反対側の土手で**ホウネンエビ**・**イチヨウキゴケ**があった。皆さんと歩くのがよかった。
- 早坂康雄さん 今回で二回目です。**ヤブヘビイチゴ**、**ヘビイチゴ**がどう違うのか?と言っていたが今回は無かった。植物の移り変わりは激しい。生をみるのが大事。自然と親しむのはその時々を大事にする必要がある。
- 井上忠昭さん 久しぶりに来ました。今日は**ギンギシ**の種類を覚えた。本当の**メダカ**かも見ました。
- 井上さんのお子さん いろいろな植物の名を覚えられてよかった。鳥とかオタマジャクシを見られたのがよかった。
- 津田富貴子さん 昨年6月29日ハンゲショウが見られた。植生がずいぶん異なり、いろいろ移り変わることが分かった。イネ科の植物が課題、これからも宜しくお願いします。
- 長須顧問 十分に説明することが出来なかった。植物も生きている。生きているものに接することが大事。小学生も放課後教室だけでなく、このような企画に参加するのもよいことです。
- 藤浪会長 会の活動について全般的に説明があった。

### 《 当日の主な野草 》

ネズミムギ・イヌムギ・アメリカフウロ・キツネアザミ・アレチギンギシ・ナガバギンギシ・ギンギシ・ハルジオン・オヤブジラミ・アカツメクサ・カモジグサ・カラスノエンドウ・アオカモジグサ・コウゾリナ・アキノノゲシ・エゾノギンギシ・ノカンゾウ・キュウリグサ・ツボミオオバコ・マメグンバイナズナ・ノボロギク・コヒルガオ・シロツメクサ・ノゲシ (ハルノノゲシ)・チチコグサモドキ・オオバコ・ククイモ・クマツヅラ・カワラナデシコ・ミゾコウジュ・ツルマンネングサ・ニワゼキショウ・ハンゲショウ・オグルマ・ヘビイチゴ・ミズヒキ・オカトラノオ・カラスムギ・センニンソウ・スイバ・イタドリ・ツバナ (チガヤ)・オニウシノケグサ・カニツリグサ・ハハコグサ・オオブタクサ・アカバナユウゲショウ・イチヨウキゴケ・カブトエビ

# ★久喜市放課後子供教室「ゆうゆう」

## 《2015年のスケジュール》

27年4月

NPO久喜の自然を愛する会：会員の皆様へ

NPO久喜の自然を愛する会 会長 藤浪康義

ゆうゆう担当 TEL090-6480-6542 宮川俊治

会の活動の一つである、放課後子供教室（ゆうゆう）の27年度に於ける活動計画が表の様に決まりました。会のモットー「今ある自然を次の世代に残そう」の実践の場です。子供達と楽しみながら進めてまいります、積極的な参加ご協力を願います。

27年度ゆうゆう活動自然観察スケジュール表

No	月日	活動時間	校名	活動内容	活動の詳細	活動場所	活動 チーフ
1	6月15日 (月)	15時～16時 30分	東鷲宮 小	自然観察	ビオトープ校 庭にて植物観 察	校庭	塚原
2	7月 4日 (土)	9時～11時 30分	太田小	自然観察	ザリガニ釣り	学校周辺	
3	7月11日 (土)	9時～11時 30分	本町小	自然観察	ザリガニ釣り	学校周辺	
4	7月13日 (月)	15時～16時 30分	東鷲宮 小	自然観察	ザリガニ釣り	学校周辺	
5	9月19日 (土)	9時～11時 30分	太田小	自然観察	どんぐり	吉羽公園	
6	9月28日 (月)	15時～16時 30分	東鷲宮 小	自然観察	どんぐり	校庭・沼井 公園	
7	10月3日 (土)	9時～11時 30分	太田小	自然観察	校庭・吉羽公園 にて植物観察	吉羽公園	
8	10月26日 (月)	15時～16時 30分	東鷲宮 小	自然観察	葉の不思議	校庭	塚原
9	11月16日 (月)	15時～16時 30分	東鷲宮 小	自然観察	木の実の不思議	校庭	塚原
10	12月14日 (月)	15時～16時 30分	東鷲宮 小	自然観察	自然からの恵 みを味わう		
11	1月16日 (土)	9時～11時 30分	太田小	自然観察	七草粥を作り 食べる		
12	1月25日 (月)	15時～16時 30分	東鷲宮 小	自然観察	七草粥を作り 食べる		

## ★新入会員情報 (取扱注意)

清野 芳子

以上1名が我々の仲間に新しく加入されました。よろしくお願ひします。

現在会員数 52名

## ★今後の日程

放課後子供教室	2015年6月～2016年1月
ふれあいウオーク中土手(2)	7月3日(金) 9時
ふれあいウオーク吉羽天神(2)	9月4日(金) 9時
ふれあいウオークくりはし	10月4日(日) 9時
会員限定バスハイク	10月下旬
年間反省会	12月12日(土) 華屋与兵衛
野草保護活動	東側 毎月第4日曜日 8時 吉羽天神集合 西側 毎月第4日曜日 8時 中土手
生き物モニタリング調査	基本的に野草保護活動と併せて実施
七草粥の会	2016年1月6日(水)
第11回「久喜市の野草写真展」	2016年3月1日～7日 久喜中央公民館

## ★編集後記

- \* 5月は、ほとんど雨が降らなかったが、平年なみの6月8日に関東甲信は梅雨入りした。この日に梅を漬ける。雨を欲しがっていた紫陽花も生き生きと目に映るようになった。
- \* 会報24号は宮川と松本が編集しました。今後、皆様へ原稿のお願いいたしますので、よろしくお願ひ致します。

NPO法人久喜の自然を愛する会会報 NO24

2015年6月発行

発行 特定非営利活動法人久喜の自然を愛する会

発行人 藤浪 康義

編集人 宮川 俊治

松本 春勇